科目名	在宅看護学課題研究Ⅰ Special Research Ⅰ in Home Care Nursing	担当教員 (研究室番号)	未定	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	分野必修	単位数(時間)	4(60)	授業形態	特別研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	一部

科目目的	関心領域の看護現象を科学的に分析し、創造的な実践を開発する研究能力を獲得するため、本科目では、文献を構造的に解読するための基礎的な能力を養うことを目的とする。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	６．看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。
	関連するDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。
到達目標	1.　関心のある文献を検索し、入手する。 2.　文献を読解し、プレゼンテーションする。 3.　論文をクリティークする。	
成績評価方法(基準)	授業への参加度（授業準備と積極性）20%、プレゼンテーション30%、ディスカッション30%、レポート（授業でその都度課題を提示する）20%により評価する。	
教科書	随時、紹介する	
参考書等	随時、紹介する	
受講者へのメッセージ	クリティークについての事前学習をする。主体的な取り組みを期待する。	
備考		

学　習　内　容

関心のある領域やテーマに関する文献を多数かつ丁寧に読解することで、①研究成果を実践に活用できる、②その領域やテーマに関する最新の知見を得る、③研究テーマを見いだす、などのメリットがある。これらのいずれも専門家として備えるべき要件である。
本科目は、学生の関心に沿って、テーマを選択履修し、グループ別に授業を進める。授業の進め方として、学生が解読する文献を検索し、それをプレゼンテーションし、その後、討論を通して、当該研究に対する理解を深める。また、在宅看護学領域における最新の研究の動向と知識を学ぶため、研修会、研究会、学会等へも参加する。
ここでは、在宅看護学全般に関するテーマを対象とする。

1.研究論文のクリティークの基礎知識を学修する
　在宅看護学で興味関心のある研究や論文に関する成書２，３冊を題材に、院生が主体的に抄読会を開催し、各章ごとに分担し、要約・発表を行い討論を深める。
2.プレゼンテーション,フィールドワーク,学会・研究会参加,討論
　院生は自分の関心に沿って文献検索し、授業においてプレゼンテーションを行う。さらに当該論文の批判的吟味を行い、論文の見方や書き方のレベルアップをはかる。これらの鍛錬の中で、論文の読解力を高め、研究論文の作成に活用する。研究課題の内容によっては、必要時フィールドワークを計画する。
また、学会、研究会等へ計画的に参加する。これらの活動についてもプレゼンテーションを行い、討論を通して理解を深める。